



郡上カンパニー

根っこのある生きかたを、つくる。

PROJECT 01

地域とつながるシェアキッチン付きシェアハウス

PROJECT PARTNER

木村 聖子

きむらせいこ

木村聖子(せーこさん)

PJPシート 自分編

似顔絵・写真



キャッチコピー・座右の銘

根っこのある根無し草？

フランクな自己紹介

行きたいところに行き、やりたいことを追求して流れ着いた郡上。
郡上の「ぐ」の字も知らなかった私が、どんどん引き込まれ巻き込まれ。。。気がついたらもうすぐ9年目に突入します。親にはさんざん「根無し草」と言われていた私が、こうして、根っこのある生き方をつくるプロジェクト「郡上カンパニー」に関わって、今まさに、郡上に根を下ろそうとして。。。いるのかどうか。
好き嫌いがはっきりしていて、全部顔に出してしまいます。嫌なこと、苦手なことをしようと思ったとたん熱が出るという特異な体質です。めんどくさいようで、一回扱い方がわかったらとってもラクだと思いますよ。

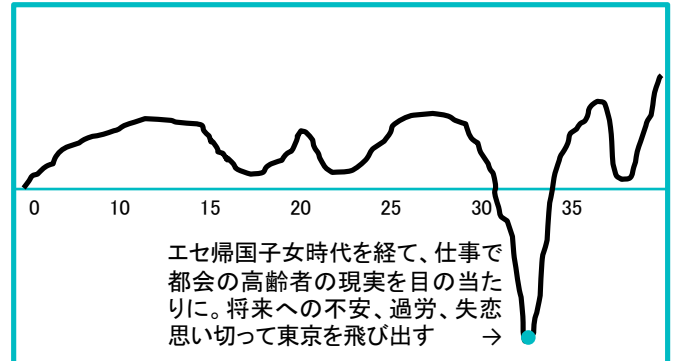
プロフィール文

1976年 青森県六ヶ所村生まれ。
中学卒業と同時に実家を離れ、東京、千葉、小笠原諸島母島、イギリス、ドイツ、東京、沖縄、郡上とハウスシェアを通じて国内外様々な場所で暮らす。
東京では福祉住環境コーディネーターとして障害があっても暮らしやすい住環境を提案する仕事に従事するが、超高齢社会の現実を目の当たりにし、都会での未来が見えず東京を離れる。
流れ着いた郡上で土地や人に魅了され、住み続けるか迷っている際にたまたま訪れた東京で震災を経験し、郡上に根を張ることを決意。
これまでのシェア経験や住宅・不動産関連のスキルを活かして2014年郡上八幡ゲストハウスまちやどを開業。暮らした家の数は20軒以上、シェアメイトは60人以上。「シェア」をキーワードに暮らしたい場所で暮らせる仕組みづくりにチャレンジ中！

自分ヒストリー

昔	今
<p>■誕生～中学卒業</p> <p>鮮魚店を営む両親の元、4人姉兄の末っ子として生まれる。北に核燃料再処理工場、南に米軍基地という田舎ながらに様々なバックグラウンドの人々が往来する土地で、小さい頃から海外への憧れをもって育つ。</p>	<p>■リアル移住時代？</p> <p>2014年4月 ゲストハウスまちやど開業→3年間のゲストハウス経営からシェアハウス運営へシフトチェンジ中。</p>
<p>■高校～専門学校</p> <p>中学卒業とともに実家を出て下宿生活(寮・ハウスシェア)～ファッションデザインを学ぶため上京。通学社員制度で、昼間は学校、夜はビアレストランで働く生活を3年。気力・体力・経済力すべて尽きて中退。</p>	
<p>■フリーター時代</p> <p>夢の海外留学に向けて友人宅でハウスシェアをしながらアルバイトで貯蓄→さらなる貯金と英語が身近にある環境へと、実家青森へ戻り米軍基地周辺の飲食店でアルバイト。</p>	
<p>■イギリス留学時代</p> <p>(2001年6月 渡英)ボランティアやベビーシッターなど住み込みの仕事しながら語学学校に通うも、物価の高いイギリスでの生活&語学力の向上に限界を感じ2年間のイギリス留學生活を経て帰国。(2003年7月)</p>	
<p>■エセ帰国子女時代</p> <p>帰国後すぐ、身一つで住める中長期滞在型のゲストハウス(当時は外人ハウスと呼ばれていた)から東京での生活を再開。国際色豊かなシェアメイトと交流。派遣社員を経て福祉住環境コーディネーターとして就職→都会の高齢者社会の現実を目の当たりにし、東京での暮らしに未来が見えなくなる→沖縄へプチ移住(8ヶ月)</p>	
<p>■お試し移住時代</p> <p>海の次は山？(東京時代の友人が高山に移住→岐阜?)→ネットで就活(メタセコイアの森の仲間たち短期の仕事&寮付き→いいかも！) 春夏→自然体験スタッフ 秋冬→シーズンバイト→地域おこし応援隊求人応募→採用(営業事務と聞かされていた) 人生初の家探しが難航！シェアハウスの重要性を実感！ 地域おこし応援隊(明宝)+まちやど活動。</p>	

人生グラフ:横軸は年齢・縦軸はイキイキ度(幸せ度)。
人生で輝いていた時、沈んでいた時を見える化しましょう！



みんなが知らない自慢・芸・得意技

家事手伝い歴30年以上、飲食店勤務歴20年以上、服飾の勉強をしていたこともあり、炊事、洗濯、料理、裁縫はそんじょそらの主婦より器用にこなせるので、嫁に欲しいと(女子に)よく言われます。ヨガインストラクターの資格(?)あります。

きむらせいこ

PJPシート プロジェクト編①

木村聖子(せーこさん)

個人的背景

これまで、住み込みなど国内外様々な場所で働き暮らしてきましたが、ここ郡上に来て初めて「住居がない！」という状況に陥り、とても苦労したのがプロジェクトエントリーのきっかけです。
新生活の住居費負担を減らして郡上へのファーストステップのハードルを1段低くするという目的だけでなく、ハウスシェアを通じて、「違いを知り、認め合い助け合う」という新しい可能性を感じています。

課題・ビジネスチャンス

- ・1ターン、Uターン、多拠点居住希望者、地元で自立したい若者
安価に住めるシェアハウスのニーズが見込める。
- ・帰省や法事などの一時滞在者(親族)
部屋の掃除や布団準備、後片付けなどが高齢化により年々負担が増えて来ている。
- ・繁忙期の季節雇用者(又は事業主)
シ通年の家賃負担を軽減できるので、季節雇用者に住居を提供でき、市外からの労働力を確保できるようになる。マッチングがうまくいけばそのまま移住という可能性も期待できる。

プロジェクト概要

地域とつながるシェアキッチン付きシェアハウス

現在ゲストハウスを運営中です。2号店となるシェアハウスは、風情ある城下町の町家の中で候補を検討中。地域の方、そして市外の専門家や応援者など、様々な人がこのプロジェクトの立ち上げに関わっています。物件の交渉や出資を募る仕組みづくりの他、地域の理解者、協力者と出会うことから、この事業を始めます。

一緒に事業を起す中で、地域の人々の思いを汲み取りながら、地域に根ざすビジネスのあり方など、これからの自身に必要な学びの期間になることも願っています。中心地の郡上八幡だけでなく、郡上市全域に「地域とつながるシェアハウス」を広げ、3年後には直接経営にとどまらず、コンサルティング業務に転換していきます



あなたは、郡上のどんな①人・コミュニティ②自然③文化に根ざしていて、このPJはそれぞれにどんな価値を還元できると思いますか？

	①人・コミュニティ	②自然	③文化
あなたが根ざしているもの	移住者だから、地元の人だから、とかそういう枠を超えて、一人一人がそれぞれの場所でできることを発揮し輝ける暮らし。	自然に敬意を払いながら営まれてきた郡上の暮らし。残すべきところは残し、変わるべきところは地域と足並みを揃え同じ温度感で変わっていくという姿勢。	「商人の町」であると同時に「人情の町」でもある郡上八幡。地元住人の長年に渡って培われた「give」と「take」のバランス感や肌感。
プロジェクトがそれぞれに対して還元できる価値	スタートアップの拠点づくりにおいて資金面のハードルを下げる。同じ場所(土地)に暮らすそれぞれの人の立場の思いとその背景を知り合う場の提供。	四季折々の暮らし方、地域行事のご案内。同じ感覚を共有する人と感情を共有し、壁にぶつかった時に互いに励まし合える場の提供。	地元の人がこれまで保っていた絶妙な「give」と「take」のバランス感や近所づきあいの仕方を伝授。地域のキーマンの紹介。

きむらせいに

PJPシート プロジェクト編②

木村聖子(せーこさん)

3年間のロードマップと3年後にどうなってほしいか

1年目 ↓	1号店底上げ・2号店準備期	やること	<ul style="list-style-type: none"> ・1号店を「女性専用」としてPR ・2号店運営準備。他のゲストハウス、旅館との差別化を徹底。地域住人の理解、協力者、(最終的にはVP自身が3号店を運営できる人材になることを目標とした準備期間とする) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期滞在プランの売り上げアップ ・暮らす郡上八幡の魅力PR。 ・リトリート・生き方の見つけ直し・地域コミュニティのあり方など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住人との交流イベント企画 ・ボードゲーム、食事イベントなど定期的に開催し、宿泊が必要ない地域の人が気楽にこれる仕組みづくり。
2年目 ↓	2号店基盤固め&3号店準備期	やること	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2号店運営にあたる問題改善&修正 ・中長期滞在・入居者のプライバシーとイベント企画などの交流とのバランス感の確認 ・入居者、地域住人の満足度チェック。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3号店開業準備(VP自身が運営前提) ・別エリア(郡上市内であれば、八幡に関わらず、VPが活躍でき、地域住人の賛同が得られる場所)の調査・ネットワークづくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2号店1.5人体制での運営準備 ・業務の書き出し、マニュアル作成などそれぞれの仕事と分担の見える化。
3年目 ↓	1. 2号店安定&3号店基盤固め期	やること	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウスシェアという暮らし方の確立 ・地域のみに、まちやどのシェアハウスの考え方、運営の仕方を浸透させる。コンサル業への転換。(木村) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3号店のオリジナリティ確立 ・VP1人(or+0.5人)で回せる仕組み作り。1. 2号店との差別化。3号店らしさVPの個性を全面的にアピール。 	<ul style="list-style-type: none"> ・VP独立に向けての準備 ・生活面、資金面において、補助がなくなった後も最低5年は郡上で暮らしていける基盤づくり。
<p>3年後の理想状態</p> <p>まちやど1.2号店の取り組みを前例とし、VP自身が率先して3号店を運営できるようになる。市内全域で合法的に、かつ地域に受け入れられる形でのハウスシェア(民泊含む)が個人的にも取り入れられるような仕組みづくり。(4号店・5号店の運営協力。民泊・シェアハウスコンサルティング業のPR)</p> <p>これまで以上に多様な人が郡上全域に訪来、滞在するようになる。=交流人口の増加、地域経済の活性化。多様な人が行き交う中で、それぞれの違いを確認し、刺激しあい、それぞれの良さを認めあえるような関係性を通じて、それぞれの暮らし方も受け入れられるまちづくり=2拠点、多拠点居住実現=空き家の有効活用、町並み保存、地域コミュニティの継続。</p>					

どんな人来てほしいか?スキル/マインド/実績など

募集メッセージ(プロジェクトのわくわく感)

PJPの関わり方

<p>補助がなくても一緒に取り組んで行きたいという意欲のある方。</p> <p>ビジネスのリスクも一緒に負う意志のある方。</p> <p>自分がシェアハウスでビジネスとするなら。。。という明確なビジョンのある方。</p> <p>サービス業の経験があり、相手の心の機微に気づける方。</p> <p>自分の意見を主張でき、かつ他との違いを認められる方。</p> <p>物事をコツコツと続けられる方。</p> <p>SNSなどマメに情報アップデートができる方。</p>	<p>働き方や暮らし方、家族のあり方も多様化する現代。</p> <p>自分の直感に従って、暮らしたい場所で暮らしてみる、働いてみる、人と触れ合ってみる。そこから見つかる無限大の可能性があなたを待っています。</p> <p>人生を変える出会いにあふれたシェアハウスを一緒に創って行きましょう。</p>	<p>A. 私自身がフルコミットして一緒に取り組みます。</p> <p>B. 私が今取り組んでる事業を基盤に、新しい事業を一緒につくります。</p> <p>C. 私にとっても未知の分野、新しいチャレンジです。</p>
---	---	---

暮らしのイメージとサポート

<p>プロジェクトの対象地域</p> <p>八幡町内～郡上市全域～日本各地の地方</p> <p>その地域での暮らしはどんなものですか?(※移住者の居住地がこの地域になるとは限りません)</p> <p>郡上八幡は小さな地域に住居や商業施設がひしめき合い、暮らしと仕事に密接に関わる地域。</p> <p>また、神楽や郡上おどりなどの祭礼や地域の伝統行事も受け継がれており、「個」が主体の都会とは真逆の「地域コミュニティ」が根強く残っているため、都会では経験できない、また田舎暮らしとは違う独特の「郡上八幡暮らし」があります。</p>	<p>あなたはプロジェクトに応募する人の暮らしにどんなサポートできますか?</p> <p>長年に渡って培われた「助け合い」のバランス感や肌感、表現の仕方は外部の人間にとっては実際に暮らして時間を重ねないとわかりにくく、コミュニケーションエラーの原因にもなり得ます。都会と田舎を経験し、移住者である私の視点からわかりやすく説明し、暮らしのサポートをします。</p>
--	---